

日本中国語学会第64回全国大会プログラム

(共催:大阪大学言語文化研究科)

2014年11月15日(土), 16日(日)大阪大学豊中キャンパス

I. 前日 11月14日(金) 言語文化研究科

17:00~19:00 理事会 (2階会議室)

II. 第1日 11月15日(土) 全学教育推進機構

10:30~12:00 評議会 (C102)

12:00~ 受付 (B棟1階ロビー)

13:00~13:10 開会式 (大講義室)

開会の辞 日本中国語学会会長 太田 齋
学会奨励賞授与

13:10~14:10 講演「汉语意合語法的認知機制和描写体系」

北京大学 袁 毓林

14:10~14:30 質疑応答

司会 大阪大学 杉村 博文

14:50~16:50 ワークショップ (C棟1、2階)

WS 1. 「日本語と中国語における話し手の見え方: 「視点」に関する日中対照研究」
(C102) 司会: 麗澤大学 井上 優

視点と事態把握: 日中英対照

筑波大学(院) 奥川 育子

中国語の受動構文: 視点の対照研究の観点から

大阪大学 杉村 博文

時間表現に反映される視点の日中対照

神戸市外国語大学 下地早智子

近視眼的/遠視眼的パースペクティブと文法

麗澤大学 井上 優

コメント: ワークショップで視点を語ることの意義

神戸市外国語大学 本多 啓

WS 2. 「方言データを活用した語法研究の可能性」 (C201)

司会: 愛知東邦大学 竹越美奈子

中国語3人称代名詞の非指示化について

関西大学 小嶋美由紀

情態成分の文末後置現象: 音声弱化和語気助詞化

神戸市外国語大学(院) 西村 英希

方言資料を基にした意味地図の作成: 疑問代名詞の分析を例に

名古屋商科大学 野田 寛達

WS 3. 「亞洲声調面面観」 (C202)

司会: 青山学院大学 遠藤 光暁

山西沁源方言双字調的语音声学分析

京都大学(非) 八木 堅二

畚语的調类演变与“浊上归去”

同志社大学 中西 裕樹

所謂藏语康方言中的“声調”语音特征

国立民族学博物館 鈴木 博之

若者の発音にみる現代ベトナム語北部方言の声調

京都大学(院) 近藤 美佳

WS 4. 「汉语学习者語料庫的建构与中介語的研究」 (C206)

	司会：東京外国語大学	望月 圭子
北京大学汉语学习者偏误语料库建构与中介语研究	北京大学	袁 毓林
日本汉语学习者偏误语料库的建构与中介语的研究		
	東京外国語大学	望月 圭子・早稲田大学 (非)
漢語學習者語料庫的標註方法與自動識別標註系統	関西学院大学	申 亜敏
日本学生汉语写作与口述能力的相关性研究	早稲田大学	砂岡和子・北京大学
臺灣漢語學習者偏誤語料庫與中介語的研究	台湾師範大学	陳 浩然・張 莉萍
17:00~18:00	総 会 (大講義室)	
18:15~20:15	懇親会 (カフェ・レストラン「宙 (sora)」)	

Ⅲ. 第2日 11月16日 (日) 全学教育推進機構

9:00~	受 付 (C棟 1階)
9:30~11:10	分科会研究発表 午前の部 (C棟 2、3階)
11:10~12:00	ポスターセッション (C棟 4階)
12:00~13:00	昼食・休憩 (C棟 1階101、102)
13:00~16:30	分科会研究発表 午後の部 (C棟 2、3階)

●ポスターセッション 11:10~12:00

(第1会場・C409、第2会場・C408、第3会場・C407、第4会場・C404)

- 1a. 助動詞“愿意”“想”の特性について一程度副詞との共起を通して一
松蔭高等学校 (非) 石井 友美
- 1b. 『金瓶梅詞話』の“~不曾?”と“~沒有?”
首都大学東京 荒木 典子
- 1c. 認識のための文法一習慣相標識としての“会”、“要”、“爱”
大阪大学 (院) 簡 靖倫
- 1d. 中国語における通時的学習語彙データベースの開発に向けて一中国語教材と中国語語彙のリレーショナルデータベース
関西大学 氷野 善寛
- 1e. 三音節名詞の意味構造
大阪大学 (院) 袁 晓今
- 2a. 語気助詞による共有知識の提示一疑問文用法を中心に一
東京大学 (院) 王 瓊
- 2b. “的”構文の既存性一「の節」との比較対照を通して一
新潟大学 (院) 董 雪嬌
- 2c. 完成貌「著」的來源與用法探究
台湾師範大学 王 錦慧
- 2d. 中国語の助動詞に関する研究一可能を表す“能”と“会”の使い分けと意味的相違を中
心に一
新潟大学 (院) 山際 美香
- 3a. 幾個「合」義動詞的語法化路徑
台湾師範大学 郭 維茹
- 3b. 從構式理論看台灣閩南語之「kah+X」句式
国立成功大学 李 惠琦
- 3c. 汉语新型被动结构“被+X”的强迫类研究一认知语言学视角
東北大学 (院) 李 麗萍

- 3d. 否定副詞“没～了”構文の成立条件について 新潟大学(院) 朱 美英
- 4a. “给”構文の意味拡張—主語及び目的語が人間でない場合—
熊本大学(院) 李 孟娟
- 4b. 從華語學習者語料庫探究視覺感知構式「看」的相關用法 台中科技大学 張 羣
・新竹教育大学 曾思雯・中原大学 許婉榆・台中科技大学 吳致秀
- 4c. 臺灣國語鼻音韻尾の混同—以-in/-in 與-ən/-ən 為例 台湾大学 陳 彦君
- 4d. ポライトネス理論から見る「能VR」と「V得R」の意味と使用場面
東京外国語大学(院) 陳 婉

※ポスターはセッション開始の2時間前より掲示することが可能です。

※ポスターセッションではポスターを縮小印刷したプリント(A4で1枚片面使用)を配布することができます。

※発表者は所定の時間内にセッション会場を離れることはできません。

●分科会研究発表

■第1会場(C202)

9:30~11:10

司会 新潟大学 朱 継征

“副詞+是”における“是”の意味機能—二音節副詞に後続する場合を中心に—【有講評】

大阪大学(院) 中田 聡美

現代汉语或然语气副词的多角度考察—以“大概、恐怕、好像”等为对象—

東京大学(院) 王 牧

把構文にみられる目的語交替現象—「V-満」を述語とする場合を中心に—

関西学院大学 楊 明

13:00~14:40

司会 東京大学 小野 秀樹

“了”存現文の意味と機能

立命館大学 島津 幸子

從數量/範圍副詞到遞進複句標記

新竹教育大学 鄭 榮・林 啓楨

程度表現の対照研究—意志のモダリティを中心に—

愛知教育大学 時 衛国

14:50~15:55

司会 流通科学大学 森 宏子

緊縮構造“A了BB了A”の意味と表現機能

東京大学(院) 長谷川 賢

手の静的使用に関する中国語動詞について

早稲田大学(非) 中司 梢

■第2会場 (C201)

9:30~11:10

司会 名古屋大学 丸尾 誠

方向動詞と方向補語に見られる統語制約の弱化現象—“出”と“V出”/“進”と“V進”
を例に一

大東文化大学(院) 神野 智久

“V起”の表す意味の諸相とその相関性について

京都外国語大学 島村 典子

「疑」と「問」に関する再検討—“不X吗?”と“不X吧?”を通して—

九州外国語学院 王 慶

13:00~14:40

司会 東京外国語大学 三宅 登之

動補構造における動詞コピー構文の語義及び形成メカニズムの分析【有講評】

新潟大学(院) 楊 麗栄

通過の三類型から見た“过”の統語的特徴について

佐々木俊雄

現代汉语量词受形容词修饰现象再考察

香港教育学院 金 晶

14:50~15:55

司会 筑波大学 佐々木 勲人

閩南語的非終結性使役助動詞 e⁰

国立台北商業大学 許 婷婷

中国語受身文のマーカ—について—自動詞を用いる“让~”とその成立要因を中心に—

新潟大学(院) 陳 述

■第3会場 (C206)

9:30~11:10

司会 近畿大学 大西 博子

台湾客語與「分佢」相關的動補結構之語法和語意特點

新竹教育大学 葉瑞娟・黄漢君

台湾閩南語否定祈使句語尾助詞之研究

国立清華大学/彰化県立田中高中 鄧 冠明

客語結果句式類型探討與 VRO 結構的避免

新竹教育大学 黄漢君・葉瑞娟

13:00~14:40

司会 中央大学 遠藤 雅裕

試探究台湾美濃客家話的介詞“KAN□”的來源

神戸夙川学院大学 田中 智子・高雄師範大学 吳 中杰

臺灣客家話的方位詞—兼論客家話持續體標記「ten3」的來源

中央研究院語言学研究所 江 敏華

閩南語特種方位構式探索

国立清華大学 連 金發

14:50~16:30

司会 新潟大学 朱 繼征

从逻辑学角度浅析“既然 p, 那么 q”和“因为 p, 所以 q”的差异

お茶の水女子大学(院) 王 芸嫻

主宾语的有定无定与名词的量限

大阪大学 金 昌吉

中国語補語の導入順序についての再検討—投射モデルの適用可能性

釧路公立大学 鈴木慶夏・Yanyin Zhang, Australian National University

■第4会場 (C301)

9:30~11:10	司会 神戸市外国語大学 竹越 孝
“A 也不是, B 也不是” 的句式义及其历时演变	松山大学/上海師範大学 石 慧敏
『老乞大』四種版本の異同に見る介詞の変遷	新潟大学 干野 真一
20 世紀前期朝鮮与日本北京官話教材对比研究	漢陽大学校/厦門大学 陳 明娥
13:00~14:40	司会 京都大学 平田 昌司
「少」の上古音価について	日本學術振興会/東京大学 野原 将揮
上古中国語における「于」と「於」について—戦国楚簡・秦簡を中心に—【有講評】	東京大学(院) 宮島 和也
14:50~16:30	司会 京都大学 木津 祐子
吴語中表示“左”的本字	愛媛大学 秋谷 裕幸・浙江大学 汪 維輝
试析绍兴方言中的存在动词—从空间和信息的角度考察—	東京大学(院) 宋 天鴻
閩南方言「beʔ4」的本字及相關討論	国立中山大学 杜 佳倫

■第5会場 (C306)

9:30~11:10	司会 鹿児島大学 三木 夏華
19 世紀中期における上海語—ローマ字版上海土白聖書と同時代文献との比較から—	東京大学(院) 張 珮
兩種《官話指南》滬語譯本人稱代詞比較研究	桜美林大学/同済大学 姚 偉嘉
新語成立における修飾成分の消長について—外来事物セクセンを表す語を例として	京都大学(非) 鈴木 史己
13:00~14:40	司会 京都産業大学 矢放 昭文
広西東南部の粵語方言に見られる幾つかの改新的特徴	東京大学(院) 濱田 武志
粵語吟誦調之新平仄律與詞樂關係	京都大学(院) 蕭 振豪
一八二八年のカテキズム手稿本に記された粵語音	東京大学 吉川 雅之
14:50~16:30	司会 山口大学 更科 慎一
韓國漢字音蟹攝字群的歷史層次分析【有講評】	台湾大学 申 祐先
共同閩語的*y 及其相關問題再論	国立中央大学 鄭 曉峯
宮島大八の初期教本—『急就篇』への道のり【有講評】	杏林大学(非) 板垣 友子

※1 発表あたりの持ち時間は、発表20分、質疑応答10分です。【有講評】の場合は発表15分、講評3分、回答2分、質疑応答10分となります。

※各発表の間に5分間の休憩を設定してあります。会場間の移動や発表者のパソコン調整のために必要ですので、定時進行にご協力をお願いします。

※会場における追加資料の配布は認められておりません。

分科会研究発表タイムスケジュール

	第1会場 (C202)	第2会場 (C201)	第3会場 (C206)	第4会場 (C301)	第5会場 (C306)
司会	朱 継征	丸尾 誠	大西 博子	竹越 孝	三木 夏華
9:30～10:00	中田 聡美	神野 智久	葉 瑞娟	石 慧敏	張 玥
10:05～10:35	王 牧	島村 典子	鄧 冠明	干野 真一	姚 偉嘉
10:40～11:10	楊 明	王 慶	黄 漢君	陳 明娥	鈴木 史己
11:10～12:00	ポスターセッション				
12:00～13:00	昼食・休憩				
司会	小野 秀樹	三宅 登之	遠藤 雅裕	平田 昌司	矢放 昭文
13:00～13:30	島津 幸子	楊 麗榮	田中 智子	野原 将揮	濱田 武志
13:35～14:05	鄭 縈	佐々木俊雄	江 敏華	宮島 和也	蕭 振豪
14:10～14:40	時 衛国	金 晶	連 金發	—	吉川 雅之
司会	森 宏子	佐々木勲人	朱 継征	木津 祐子	更科 慎一
14:50～15:20	長谷川 賢	許 婷婷	王 芸嬭	秋谷 裕幸	申 祐先
15:25～15:55	中司 梢	陳 述	金 昌吉	宋 天鴻	鄭 曉峯
16:00～16:30	—	—	鈴木 慶夏	杜 佳倫	板垣 友子

※共同発表の場合には筆頭発表者のみを表示しています。

●参加方法

事前登録は不要です。

- | | |
|----------------------|--------------|
| (1) 参加費 (予稿集代を含む) | 3,000円 |
| (2) 11月15日 (土) 懇親会費 | 一般 4,000円 |
| | 院生・学生 3,000円 |
| (3) 11月16日 (日) 昼食弁当代 | 1,000円 |

※16日 (日) の昼食弁当は15日 (土) に引換券を前売りします。売り切れの場合はご容赦下さい。引換券をお買い求めでない方は、ご自身で16日の昼食をご用意下さい。

※開催期間中の託児室については、運営の概要と申込方法が学会ウェブサイトに掲載されていますので、その方法に従ってご利用下さい (なお、本託児室の開設は大阪大学「臨時託児室設置支援事業」による補助を受けています)。

※「予稿集」を2部以上ご購入したい場合は、大会終了後に学会ウェブサイトに記載されている要領に従ってご注文下さい。

※宿泊先の紹介や斡旋はありません。各自でご予約下さい。

※会場に学会事務局のカウンターは設置されません。学会費納入・学会費領収書発行等の手続きは行いませんのでご了承下さい。

■11月15日(土) 会場

全学教育推進機構 講義 C 棟

2階	C206	ワークショップ (4)		講義 B 棟	1階 受付	大講義室
	C202	ワークショップ (3)				
	C201	ワークショップ (2)				
1階	C102	評議会・ワークショップ (1)	←	1階 受付	→	開会式 講演会 総会
	C101	休憩室				
	C104, C105, C106	書店展示				

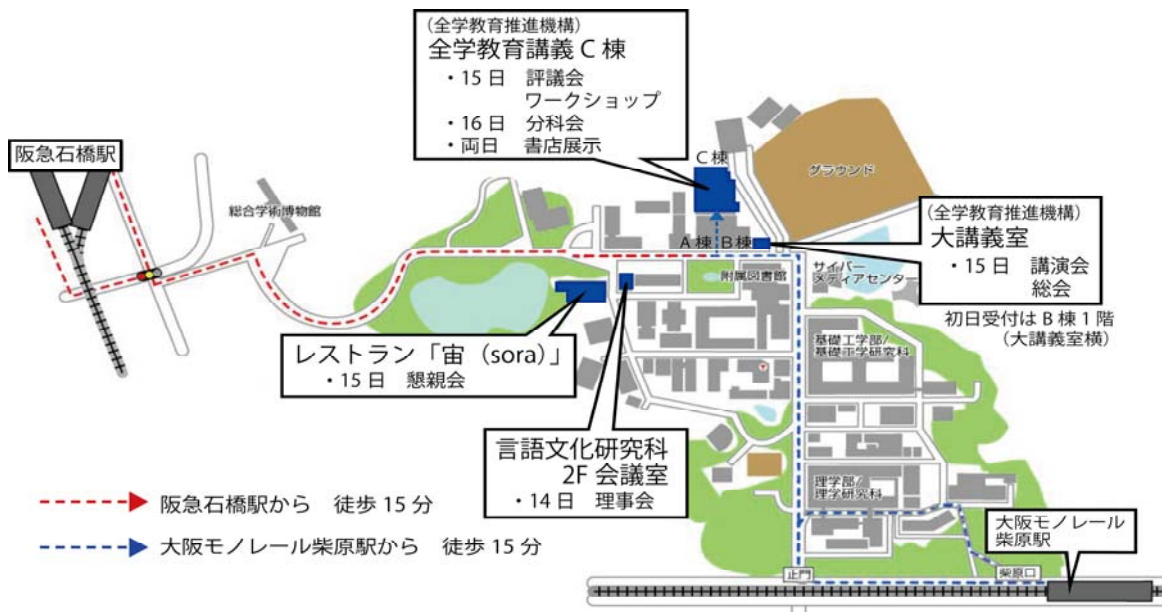
■11月16日(日) 会場

全学教育推進機構 講義 C 棟

4階	C409, C408, C407, C404	ポスターセッション
3階	C306	分科会 (5)
	C301	分科会 (4)
2階	C206	分科会 (3)
	C201	分科会 (2)
	C202	分科会 (1)
1階	C107	受付・クローク
	C101, C102	昼食
	C104, C105, C106	書店展示

(講義 A 棟西側玄関に AED 設置)

■学内案内図



【受付・クローク】 15日は全学教育推進機構 B 棟、16日は C 棟に設置します。

■大阪大学（豊中キャンパス）までの鉄道路線図



【ご案内】

大阪モノレール「柴原」駅、阪急宝塚線「石橋」駅から会場までどちらも徒歩約 15 分

- ◆<新幹線>新大阪駅から地下鉄御堂筋線で「千里中央」駅、大阪モノレールで「柴原」駅下車(所要約 30 分)
- ◆<飛行機>大阪空港から大阪モノレールで「柴原」駅下車(所要約 6 分)
- ◆<飛行機>関西空港からは大阪空港までのリムジンバスを使うと便利(所要約 70 分)

※上記案内図は PDF 版プログラムがカラーで見やすいです(学会ウェブサイト>全国大会)。

http://www.chilin.jp/annual_meeting/index-annual_meeting.html

[付記] 口頭発表 1 件につき、学会著作権規定に違反するとの申し立てが会員から寄せられました。研究公正調査委員会による調査の結果、違反の事実が認められましたので、当該発表を削除の上、掲載します (2015.11.2)。